

家庭学習のすすめ Vol.3



大崎町立中沖小学校

校長：松田 恵子 教頭：久保 浩昭

【児童数】61人 【44戸】
1年生 11人 4年生 9人
2年生 9人 5年生 11人
3年生 10人 6年生 11人

【学校教育目標】

基礎・基本を身に付け、夢を持ち、未来に
向かって学び続けようとする児童の育成

【校訓】

「考える子」「やさしい子」「元気な子」

【キャッチフレーズ】

いざ学ばん 愛の手をとり ともに励む 中沖っ子

1 家庭学習の手引きの活用

本校では、発達段階（低・中・高学年）に応じ「家庭学習の手引き」を作成し、各学級で家庭学習の進め方についてのオリエンテーションを実施しています。

また、家庭学習の手助けとなるように、各家庭へ配布し、家庭との連携を図っています。

2 宅習内容の充実

上学年になると宿題のほかに、それぞれが自分の課題を解決するための内容等を工夫した学習「宅習」をしています。

各学級では、工夫された「宅習」を週報や学級PTA資料等で紹介したり、学級後方に掲示したりして、友達のよいところを参考にさせることで、自分にも取り入れられるように支援しています。

また、学習中や学習後（単元終了時）で、つまづきが見られる内容については、週報等で知らせ、家庭でも重点的に復習できるように掲載しています。

＜家庭学習の手引き：低学年用＞

がくしゅうのまえのやくそく（たしかめ）

- ① テレビはけして、つくえのまわりをきれいにしましょう。
- ② えんぴつやしたしき、じょうぎなどをそろえましょう。
- ③ じはていねいにかきましょう。

がくしゅうじかんのめやす

1ねんせい・・・30分いじょう 2年生・・・40分いじょう

【くく】

- 1 しゅくだいでいたら、まずそれからすませましょう。
 - 2 こえにだしてきょうかしょをよみましょう。
- (1) 「、」や「。」にきをつけてすらすらよめるように、なんどもこえにだしてよみましょう。
- (2) よめなかったかんじは、きょうかしょやドリルなどでしらべましょう。



3 家庭学習強調週間「メディアダウン運動」の取組

本校では、年4回、大崎町家庭学習強調週間の取組に合わせ、「家庭学習強調週間（メディアダウン運動）」を設定し、実践記録カードを活用しています。

項目	6/17 (日)	6/18 (月)	6/19 (火)	6/20 (水)
朝起き時刻 【 時 分】 (8時までに登校から考えると...)				
朝ごはん (午前中の活動のエネルギー源)				
メディアの時間 平日【 時間 分】 土・日【 時間 分】 (テレビ・DVD・ゲーム等は、平日1時間以内)	メディア視聴の時間及び家庭学習の時間を各家庭で設定し取り組む。			
勉強する時間 平日【 分以上】 土・日【 分以上】 (目標：学年×10分+20分)				

＜児童の感想＞

- ・ テレビを見る時間を短くしようと思いました。
- ・ 毎日、勉強できてよかったです。
- ・ 寝る時刻が遅い日があったので、早く寝るようにしたいです。
- ・ 日曜日に早起きができなかったもので、これからはできるようにがんばりたいです。

＜保護者の感想＞

- ・ まだまだ流れをつかめず時間がかかりますが、がんばっていたようです。
- ・ 時々声かけも必要でしたが、本人なりにがんばっていました。
- ・ メディアダウンは、平日はできましたが、休みになるとダラダラしてしまったようです。
- ・ 平日は、自ら進んで取り組んでいたのがよかったです。
- ・ 今後もノーメディアを続けて、親子のコミュニケーションや学習の時間を増やしたいと思います。
- ・ 音読も習慣づけたいです。ほかは、できていました。

学校から帰宅すると、宿題を先に済ませようと努力する児童も多く見られ、家庭学習の習慣化が少しずつ進んでいます。今後も家庭と連携を図りながら、家庭学習の量・質の改善に努めていきます。